

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	田中 真貴
全体計画						経費区分	-		内線	3335	
事務事業名	11703 予防接種事業（市単独実施）										
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課										
施 策	01010100 健康づくりの充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費									
	事業	020000 予防接種事業（市単独実施）									
事業目的						事業概要・効果					
集団生活等での感染症を予防し、重症化を防ぐためインフルエンザ予防接種費用助成を行う。						0歳～15歳(中学3年生)のインフルエンザ予防接種に対し必要回数1回につき1,200円(平成26年度までは1,000円)の助成を行う。市民税非課税世帯・生活保護世帯の者に対しては全額助成を行う。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
こどものインフルエンザ予防接種助成	こどものインフルエンザ予防接種費用助成
平成29年度 実績	平成30年度 予定
こどものインフルエンザ予防接種費用助成 接種率50.5%（延べ接種回数/延べ必要接種回数）	こどものインフルエンザ予防接種費用助成
平成31年度 予定	平成32年度 予定
こどものインフルエンザ予防接種助成	こどものインフルエンザ予防接種助成

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		7,725	8,854
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		7,725	8,854
人員数(人)	正規職員	0.9	0.1
	嘱託職員	0.4	0.1
	臨時職員	0.0	0.3
人員コスト	正規職員	6,434.1	714.9
	嘱託職員	1,106.4	276.6
	臨時職員	0.0	353.7
	計	7,540.5	1,345.2
市民一人当たりの経費		0.3	0.2
総額		15,265.5	10,199.2

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	205	消耗品65、印刷製本費140
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	7,520	ワクチン接種費用助成

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	171	消耗品31、印刷製本140
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	8,683	ワクチン接種費用助成8500、郵便料183

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	インフルエンザの感染拡大と重症化予防には有効	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	インフルエンザは集団生活から感染拡大の危険があるため、保育園児や小中学生を対象に実施していることは有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	予防接種率維持のため、助成費用や対象者を変更せずに実施	

振り返り（決算年度の取組み課題）
インフルエンザの重症化を防ぐには必要な事業である

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

インフルエンザの流行拡大防止と重症化予防を目的としていることと、子育て支援事業としても継続必要。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

予防接種費用の助成を行い感染症を予防することにより、重症化予防や子育て支援が図られる。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--